

# KURURA

2019.12 / vol.07

タイトル / 題字 海聖・崇翔・翼・陽大  
KURURA Vol.1 メンバー  
伊豆市立修善寺南小学校卒業生

## 特集1 伊豆ならではの自然を活かす

- 04 | シャワークライミング
- 06 | 金のテーマパーク 土肥金山

## 特集2 地域のために頑張っている人

- 08 | 燕舎
- 09 | The Crank
- 10 | 雲風々 / ラフォーレリゾート修善寺
- 11 | From here / 修善寺しいたけの里

- 12 | 伊豆の生活 わたしたちのあたりまえはあたりまえ？

Column 全国の狩野さんは伊豆がルーツ!? 中伊豆小学校校長 菊地勝義

- 13 | KURURA map
- 14 | 編集後記
- 15 | COLOMAGA Project の活動について

KURURA の詳しい活動についてはこちら  
[www.izukurura.com](http://www.izukurura.com)



Instagramをはじめました!  
[www.instagram.com/izuni\\_kurura](https://www.instagram.com/izuni_kurura)

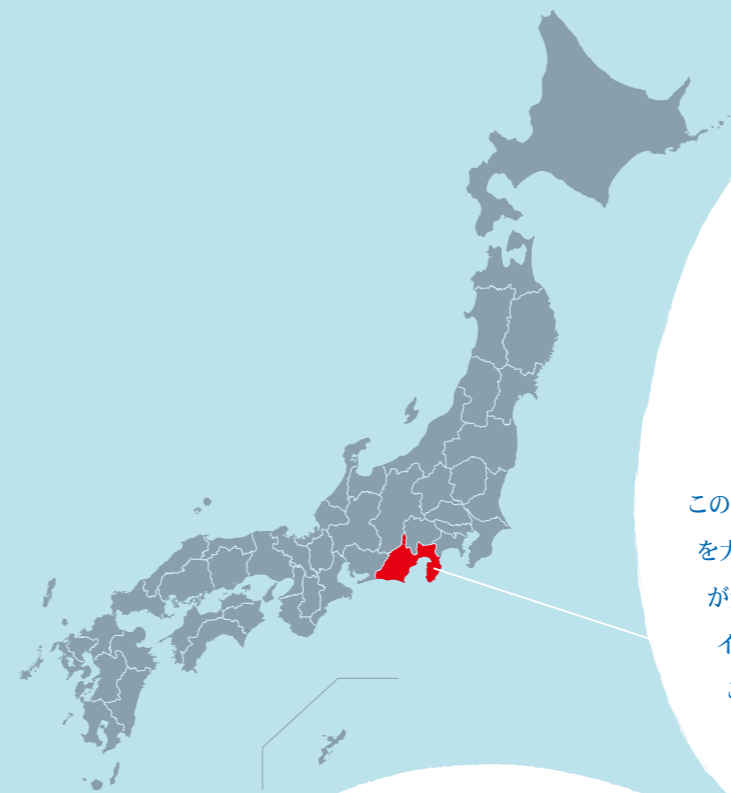


### コロマガは「ESD」の実績活動

2013 年度に産声をあげたコロマガは、子どもたちがこの制作を通して地域に愛着や誇りを持ち「持続可能な社会を創りたい」という気持ちを育てられる実践的な活動と言えます。この「持続可能な社会の創り手を育てる教育」が ESD(Education for Sustainable Development) と呼ばれているものです。同じ頃、2015 年国連サミットで世界のリーダーが集まって 2030 年までの目標を定めました。これが SDGs(Sustainable Development Goals) といわれる 17 の目標と 169 のターゲットからなるものです。今、世界中でこの目標を達成するために産・官・民・学のあらゆる機関を上げて取り組んでいます。そしてこの SDGs を達成するためのエンジンが ESD であるといわれています。

子どもたちの未来のためにみんなでコロマガの取り組みを応援してください。

ESD-J 理事 大塚明



### COLOMAGA 伊豆市版



「伊豆の魅力を伊豆人に届けたい。」  
をコンセプトに活動しています。

この冊子は、伊豆市の子どもたちが、自分たちの住んでいる町を大人たちと一緒に、調べて、聞いて、まだ地元の伊豆人たちが気づいていない伊豆の魅力をもっと伝えようと思い、クリエイターと一緒にコラボレーションで創った伊豆の情報誌です。この冊子の名前「KURURA(くるら)」は、来るよね?来るでしょ!を表す伊豆地方の言葉で、vol.1制作時の、小学5年生の男の子たちのチームが名付けてくれました。

### こどもローカルマガジン COLOMAGA コロマガプロジェクト project

わたしたちは、  
このコロマガプロジェクトを通して  
こんな社会を実現していきたいと  
思っています。

KURURAでは、一緒にローカルマガジンを作ってくれる  
小学校4年生から中学3年生までの子どもで、文章を書いたり、  
絵を描いたり、写真を撮ったりするのに興味がある子を  
募集しています!!

一緒にやりたい子は、制作実行委員会まで連絡ください!  
連絡先: [izukurura@gmail.com](mailto:izukurura@gmail.com)

ふるさとの良いところを  
知って自慢できる  
子どもたちが増えること

ふるさどに住みたい、  
ふるさどで働きたいと思う  
子どもたちが増えること

ひとりでも多く  
自己肯定感が高い  
子どもたちが増えること

子どもたちの  
創造性・独創性を  
育み活かす機会が  
増えること

「デザインの力」を  
理解できる  
子どもたちが  
増えること

地域コミュニティに  
関心を持つ  
大人と子どもたちが  
増えること

大人と子どもが  
一緒に何かを創り出す  
関係が増えること

こんなことが増えれば、日本の未来は  
とても明るい!